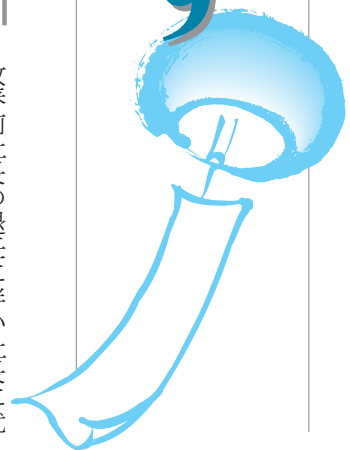


暑中お見舞い申し上げます



大崎町長 東 靖弘

暑の中での作業、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

今後、引き続き災害には十分な警戒をしてください。

活性化プロジェクト

大崎町が抱える懸案を重要施策としてとらえ、四つのプロジェクトを立ち上げました。

厳しい暑さが続いておりますが、町民の皆様方には毎日お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、去る六月二十九日の集中豪雨では、家屋の一部損壊や床下浸水で十二世帯三十四人の方々が被災されました。心からお見舞い申し上げます。また、八月二十五日夜には台風九号の強風で貨物船が座礁し、外国人乗組員四人の尊い命が失われました。ご冥福をお祈りします。

流出した重油が海岸線に漂着し、回収作業にたくさんの方ボランティアのご協力をいただきました。猛

に活動しております。このプロジェクトはまた、地方分権時代を担う職員の政策立案能力を向上させることもできると期待しているところでございます。

町政座談会

町民の心を大切にする対話の行動によって民意を汲み上げることが大崎町発展の原点と考えております。

農業生産から流通までを視野にいたれた産業公社について研究するアグリ・プロジェクト、総合運動公園の整備やスポーツスタジアム構想について研究するスポーツ・プロジェクト、商店街の活性化や水を生かした魅力資源づくりに取り組むアクア・プロジェクト、そして生涯現役・生涯健康であるための高齢者の生きがいづくりを研究するマスターズ・プロジェクトでございます。

現在、約五十人の役場職員が始業前や終業時を活用して、積極的

日程につきましては事前にお知らせいたしますので、たくさんの方々のご参加をお願いいたします。

市町村合併

市町村合併は、そこに住んでいる人々にとって、地理的なことや市町村のあり方について重大な問題であり、それぞれの地域の実情に応じて、町民の意向を踏まえて自主的な判断で行われるべきと考えております。

本町では昨年、『市町村合併問題研究会』を開催し、その結果は今年三月にパンフレットとして皆様方にお届けいたしました。今後ともいろいろな情報をお届けしたいと思っております。

あすばる大崎

平成十年八月にオープンしたあすばる大崎は、この三月に温泉入浴客が百万人を突破し、宿泊部門や物産館なども順調に営業活動を展開しております。

私は去る六月二十六日に、新堂

政春前社長の退任に伴い社長に就任いたしました。今後とも温泉を主体にレストランや産地直送の物産館を複合的に活用し、格安でゆったり楽しめる施設としてサービスの向上に努めてまいります。

二十一世紀の大きなテーマになりつつある少子高齢化への対応をはじめとする多種多様な住民ニーズに適切に対応するため、行財政全般にわたる改革を進め、住民福祉の向上のために最善の努力をさせていただきます。

皆様にはくれぐれもご自愛ください。さるようお願いいたしまして暑中の挨拶といたします。

平成十四年 盛夏

大崎町長
外職員一同